



# RUNE NEWS

VOL.57

こんにちは！ルネの新商品情報やプロモーション活動など、最新情報をお届けする『RUNE NEWS』。営業活動にもお使いいただける情報をご紹介します。みなさまからのフィードバックもいただくと嬉しいです。



Pick Up

## ♥Rune PANDA 50th Anniversary♥

ルネを代表するキャラクターで、ルネ自身も特別に愛着を持ったキャラクター、ルネパンダ。1971年ロンドンの動物園で実際に見たパンダの可愛らしさに感動したルネ。可愛さを強調できるように大胆にも2頭身にデザインし、黒い毛の中に埋まっているような目に白目を表現し、商品化しました。これは上野動物園の人気者となった「ランラン」「カンカン」が来日してパンダブームが到来する1年前のことでした。

ほのぼのと遊んでいたりと、電話をしたりと様々な表情で可愛らしく擬人化されたルネパンダは、ルネ自身も何枚描いたかわからないと言います。ファンが多く50年にも渡って愛され続けているルネパンダは、デビューから年代を経て目の表現や顔の形も変化してきました。特筆ポイントとしては、ホントは白いシッポを途中から「その方がチャーミングだから」と、黒色に描きました。また顔については、まつ毛を描いたり、白目が円形から楕円形に変化しました。

更に、黒目に白い点が入ったり、目の周りの黒い毛が垂れ下がり大きくなり、目の位置も下がって額が広くなったりと目の表情だけでも時代に合わせて変化してきました。

当所は丸い輪郭だったものがおむすび型に変わり、中には眉毛のついたパンダまで登場。ルネは特に目の表現にこだわり、制作途中でもっと可愛くなるようにとコメントを戻したりしています。

ルネの自伝「すべてをなくして」でも、ルネ自身が、「パンダという動物は・・・どこで初めて知ったのか覚えてはいませんが、知ったとたんにこれは絶対形にしなければいけないと、強く思いました。大熊猫というだけで、もちろん実物を見たこともなければ、猫なんだか熊なんだかわからない。どんな大きさかということもです。それでロンドン動物園まで実物を見に行きました。」と語っています。このようにして誕生したルネパンダも2021年に生誕50周年を迎えました。

これからも多くの方々から愛され続けるキャラクターであり続けます！



### 50周年を祝ってロゴを作成！

RUNE PANDA 50th ANNIVERSARYのロゴを商品化やプロモーションでご利用希望の方はデータをお送り致しますのでお声がけください。



ルネパンダは、これまでもぬいぐるみやマグカップ、マスクケース、キャンバスアートなど、さまざまなアイテムで商品化していただいています。



ルネパンダは、50年という長い歴史のなかで、輪郭や目、まゆげやチーク、さまざまなアレンジが加わりながら変化していきました。「もっとこうの方が可愛いらしい」というルネのキャラクターへの深いこだわりが感じられます。

